



イー・デリバティブ・ドット・コム株式会社

金利スワップ電子ブローキングシステム「eDTS」のセキュリティを支える RSA® SecurID®

イー・デリバティブ・ドット・コム株式会社は、24時間対応の金利スワップ電子ブローキングシステム「eDTS」を開発し、2000年11月、世界で初めて運用を開始した。eDTSは「eDERIVATIVE Trading System」の略称で、資金の調達と運用の際に生じる金利のギャップを埋めるため、金融機関の間で金利を交換する取引、OTC(Over The Counter)スワップ取引を電子化したシステムだという。金融機関を専用回線で結び、複雑なクレジットラインを電子化したeDTSには、セキュアなシステムを構築するための確実な本人認証と、高度なセキュリティが必要不可欠だった。そこで、選ばれたのがRSAセキュリティのRSA SecurIDである。eDTSとセキュリティの関わりを、寺田 裕 代表取締役社長と、松野 公彦 取締役副社長に伺った。



システム化は不可能とされていた電子ブローキング業務を「eDTS」で実現

デリバティブとは、金融市場、証券市場で行われている株式・債権・為替・金などの現物取引に対して、現物の価格や金利に依存して価格が決定される金融派生商品(先物・フォワード・オプション・スワップなど)を指す。デリバティブには、上場もの、店頭もののほか、マーケット以外で行われるOTCと呼ばれる取引があり、その代表的なOTC取引が金利スワップである。OTC取引は主に銀行などの金融機関の間で取引され、資金の調達と運用の際に生じる金利のリスクを少なくするために、複雑なクレジットライン管理に基づいて仲介業者経由で行われている。金融機関は、金利変動のリスクを避けるために金利スワップ取引を駆使しているが、取引相手となる金融機関によって与信がそれぞれ異なるので、どうしてもブローカーと呼ばれる「人」の介在が不可欠だった。

邦銀勤務時代寺田社長は、市場の先読みや与信

情報の収集力が決め手になることも多いこの取引に、「複雑な条件をコンピュータで管理して、より速く売買を成立させ、世界各地にある市場のオープンに合わせて24時間稼働し、コストを削減できるシステムが出来ないものだろうか」と考えていた。しかし取引には複雑なクレジットライン管理が必要なため、関係者の中ではシステムの電子化は不可能であるとさえいわれていた。

かつて邦銀のトレーダーとして経験を積んだ社員が多いイー・デリバティブ・ドット・コム。その経験が、金利スワップのノウハウを「eDTS」の開発に100%活かすことが出来た、と寺田社長は語る。「eDTSでは、あらかじめ与信情報の登録を行うことにより、ほんの数秒で約定が成立します。100億円単位の高額な契約をオンライン取引で行うわけですから、取引権限を持つトレーダーのみがeDTSを利用できるようにするにはどうしたら良いか、を考えました。セキュリティという点では、システムへのログインを最重要視しました。」

そこで、トレーダーなら誰でも知っているという安心感と海外の金融機関への高い導入実績があるという信頼感から、RSAセキュリティのRSA SecurIDが選ばれたのだ。

ネットワークとユーザーをカバーする
万全のセキュリティ対策

2000年11月の運用開始以来、東京市場だけでも

イー・デリバティブ・ドット・コム株式会社

金融派生商品取引のブローキング業務、金融派生商品の価値評価、および市場リスクマネジメントのアドバイザー業務を行う金融ベンチャー企業。金利スワップの電子ブローキングシステム「eDERIVATIVE Trading System(eDTS)」を世界に先駆けて2000年11月よりサービス開始。



代表取締役社長
寺田 裕 氏



取締役副社長
松野 公彦 氏

多くのトレーダーに利用されている eDTS。迅速、確実な取引と完全なセキュリティをうたう eDTS におけるセキュリティについて、松野副社長は次のように語る。「eDTS そのものの信用、利用される金融機関の信頼、取引情報など、このシステムには守るべきものがたくさんあります。まず、最も大切なことは利用権限を持つトレーダーだけが eDTS へアクセスできることです。そこで同システムを利用するトレーダーには、ワンタイム・パスワードの SecurID をご提供することにしました。SecurID を採用したのは、SecurID は銀行のデーリングルームでは馴染みのある製品で、弊社として特に使い方や効能を説明する必要がなかったからです。特に海外ではその傾向が顕著です。また、ネットワーク・システムは、インターネットではなく専用線で構築しました。その理由は、ハッキングの防止や障害時における対策や対応の迅速性を確保するためです。セキュアなネットワーク環境と SecurID との二重のセキュリティの確保によって、金融機関は安心して eDTS を利用できますし、トレーダーは面倒なパスワードを覚えたり管理しなくて済みます。固定パスワードと ID 入力だけのシステムでは、金利スワップシステムとしての信用は得られません。」

固定のユーザー ID とパスワード入力だけでアクセスできるレベルのセキュリティでは、不十分だというのが同社の見解だった。60 秒に 1 回という頻度で変化する SecurID のワンタイムパスワードならば確

実だと実感したということである。SecurID の確実な本人認証が、瞬時的な取引を可能にしたのである。

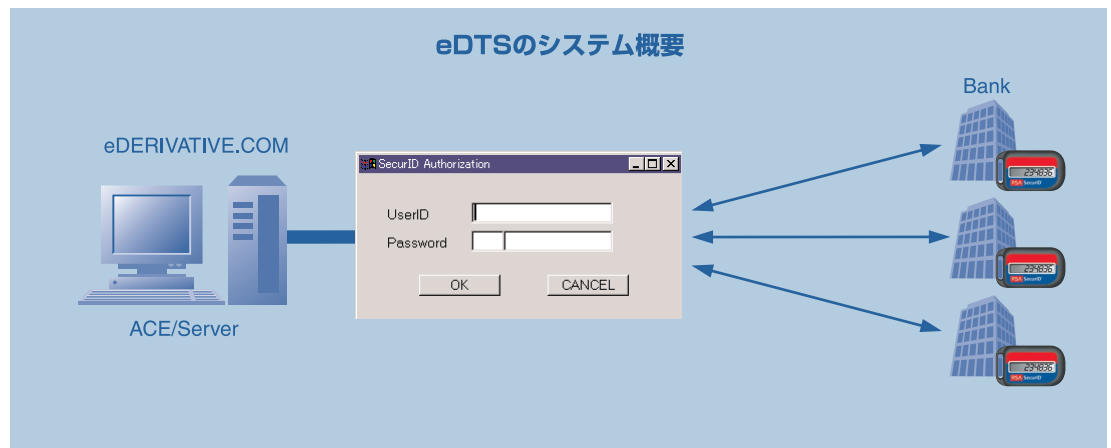
グローバル化にむけて

イー・デリバティブ・ドット・コムは、金利スワップ取引においてデリバティブ発祥の地である日本から、世界に先駆けて電子化の実現に成功した。そのおかげで、現在、多くの銀行のトレーダーに利用され、100 億円単位を超える金利スワップの取引件数は、増える傾向にあり、金融市場の一部として、eDTS が着実に浸透してきている。そのうえ、仲介業者のコストを大幅にカットできたことで、割安の取引手数料で提供することができた。

寺田社長は eDTS の将来性について、「eDTS は円金利スワップから取引を開始しました。これからは米ドルやユーロ、英ポンドなど取り扱い通貨とサービスを拡張していきます。システムを電子化したことで、世界のどこからでも 24 時間取引可能になるというわけです。」と語る。既にフレームワークを敷設しており、今後、米ドルやユーロなどの金利スワップサービスを、香港、シンガポール、ロンドン、ニューヨークに展開していく方針だ。時差により世界各地でと次々とオープンする市場をカバーできるのも、eDTS ならではである。

RSA SecurID 導入のポイント

- ・ 60 秒ごとにアクセスコードが変化する、ワンタイムパスワード
- ・ 海外の金融機関への高い導入実績
- ・ 暗証番号 + 認証トークンというわかりやすい二重のセキュリティ



RSAセキュリティ株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-26-5 虎ノ門17森ビル11F
エンタープライズ営業本部 TEL.03-3539-7667 FAX.03-3539-7514
<http://www.rsasecurity.co.jp> info-j@rsasecurity.com

お問い合わせ先